

新たな県立高等学校入学者選抜が目指すこと

令和元年8月29日
入学者選抜事務調整会議

県立高等学校を取り巻く状況の変化

- グローバル化、少子高齢化・過疎化、産業技術の進展（AI）による社会や職業の在り方の変化
- 学習指導要領の改訂
 - ・ 主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニングの視点）
 - ・ 社会に開かれた教育課程
 - ・ カリキュラム・マネジメント
- 高大接続改革
 - ・ 大学入試共通テスト（記述問題）
 - ・ 英語4技能の重視

福島県の
子どもたちの
「確かな学力」
の育成

県立高等学校 の学びの充実

- アクティブ・ラーニングの推進
- 英語4技能の強化
- 地域の特色をいかした教育活動の展開等

「新たな県立高校入試」を通じて、「確かな学力」を育成し、ふくしまの子どもたちの豊かな未来を拓いていきます。

県立高等学校改革基本計画

新たな県立高等学校入学者選抜

受験生の
学習意欲を
喚起し、
学力向上に
資する選抜

- ① 円滑な中高接続
3月に選抜を行うことで、中学校で3月までしっかりと学習に取り組み、4月からの高校生活に円滑に進めるようにする。
- ② 学力向上
志願者全員に学力検査を課す。
- ③ 「志願してほしい生徒像」の明確化
高等学校の特色を理解した意欲の高い出願を促す。

特色選抜
高等学校の特色を理解した上で、自分の特技や興味・関心に基づき、将来の進路実現に最適な学校に志願

新しい時代に求められる力を身につけることが必要

- 基礎的・基本的な知識及び技能の習得
- 思考力・判断力・表現力等の育成
- 主体的に学習に取り組む態度の涵養

中学校の学び